

「燃える赤白 心を一つに」がんばった運動会!!

とても暑かったですが、子どもたちの活躍が随所に見られた運動会。大勢の方々に参観いただきありがとうございました。

6月4日

<校長講話>より

今日は先週の土曜日に暑い中行われた運動会の様子をスライドでみながら、先生の思ったこととお話をしたいと思います。

1年生にとっては初めての運動会でしたが、2か月の練習でよくがんばりました。本部から写真をとらせてもらって、お家の人たちとちょっと違ったところから皆さんの頑張っている姿をみせてもらいました。低学年のかけっこ、高学年の短距離走、暑い中、精一杯走ってくれました。リレーのバトンの受け渡しも上手にできました。チームの応援も力が入っていましたね。つなひきはみんな力一杯引いていました。1年生の玉入れ、上手にかごに入れていました。片付けも早くできていました。2年生の「忍者参上!」動きがそろっていてきれいでした。



3年生の「ワッショイ!!」はみんなで協力して落とさないように上手に旗の周りを回っていました。

4年生の「信濃の国」は早いリズムに体がついて、おどれていました。衣装もきれいにグラウンドに映えていました。

マーチングバンドは4月からの練習の成果がみえて、きれいなそろった動きがみえたり、素晴らしい演奏でした。「豊野音頭」は全校でお家の人、地域の人と一緒にできてすごくいいなと思いました。ひまわり学級の皆さんも太鼓をがんばり、盛り上げてもらってよかったです。5・6年生は「組体操」をがんばりましたが、5年生の学年便りから練習の様子を書いた日記を紹介します。

「ピラミッドを作った。ぼくが一番下だったので、死にそうだった。でも「ぼくがくずれたらみんながくずれる。」と思いがんばった。そしたら完成したのでうれしかった。」

「私は3列目で、しかも一番大変で痛い場所です。先生から「3列目がすごく大変だよ。3列目よくがんばったね。」と言われ、うれしくて泣いてしまいました。また、がんばっていきたいです。」

自分だけじゃなく、他の人のために「組体操」を完成する。そうするとうれしさが2倍3倍にもなると思います。「がんばってできた。わかった」ということ。そのためには何が大事だったかという「くりかえし・つみかさね」ですね。他の人のためにできた。わかった。そんな喜びもあります。それが**思いやり**です。このことは大人になった時、**働く**ということにつながります。人のために動くということです。働くという言葉に辞書で引くと **傍（はた）を楽にする**と書かれています。これからも勉強、遊びでも掃除でも周りの人が楽になるようにできるといいですね。それが**働く**ということです。

